

花と木の実践養成教室

令和4年1月25日（火）

バラの冬管理について

バラは、枝を更新することで元気な花を咲かせることができます。

枝をそのままにしておくと、上手く育たなくないます。つまり、バラは枝を更新していくことで、株自体を活性化し毎年よい花を咲かせます。

バラを栽培するためには、この作業(剪定)がとても重要となってきます。

ハイブリッドティ (HT)

四季咲きの大輪種で、品種も多く、花形や色も香りも豊富にあります。

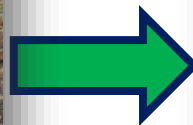
フロリバンダ (F)

四季咲きの房咲き中輪種で、一枝に数多くの花を咲かせます。

剪定 (1月中旬～2月上旬)

枯れ枝や細い枝を元から取り除き、昨年花を咲かせた枝やシュートを切ります。剪定する高さは、系統によって異なりますが、(HT)は剪定前の樹高の1/3位に、(F)は剪定前の樹高の1/2位に剪定するのが目安です。枝を切る時は、株の中心から外側にある(外芽)の5mm上で切ります。

太く充実した枝を5本くらい残して、外芽の上で切ります。



ハイブリッドティ



剪定前

剪定後

フロリバンダ





鉛筆より細い枝や枯れた枝は、枝元で切り取ります。
残す枝の数は、5～7本くらいが理想的です。





剪定作業が進んでいます！



きれいになりました！





**施肥は、1月～2月上旬までに牛糞堆肥3ℓ・油粕300g
骨球100g・ヨウリン50g・今回は硫酸カリ5gを配合して、
株から30cm離れた所に深さ30cm位の穴を掘り与えます。**



1株に3ヶ所の穴を掘りますが、株と株の間隔が狭い所は、間を掘って2株兼用すると手間が省けます。





穴に堆肥・肥料を入れて掘った土を半分戻して混ぜます。



混ぜ終われば、残りの土を全部戻して土をならします。





**最後に
雑草対策・乾燥防止
保湿効果・病気対策
の為に牛糞堆肥で
マルチングします。**

**剪定と施肥が終わりました。
春の開花が楽しみです！
みなさんありがとうございました。**

